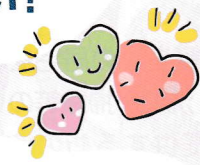


介護に必要なのは 「コミュニケーション」 分かっているけど難しい!

コミュニケーションが大切だとわかっていても、毎日の生活の中では、なかなか難しいのが現実です。経験者からの情報を「こうしてみたら?」にまとめてみました。



介護保険なんか、申請するな!

と親(家族)に怒鳴られた!(介護保険の申請拒否)

「なにも困っていない!」「人の世話になりたくない」「他人が来るのは疲れる」などと拒否することがあります。

★こうしてみたら?

- *信頼する第三者の話は聞くかも…
 - かかりつけ医に勧めてもらう
 - 「看護師さんに体調を診てもらおうと家族も本人も安心できる」と話してみる
- *お得感をアピール
 - 住宅改修の提案
 - 「〇万円もする手すりが介護保険を使えば1割負担でできるよ」
 - 福祉用具購入
 - 「お風呂で使う椅子…安定感があって使いやすいものが1割負担で買えるよ」



他人(ヘルパー)が家に入るのを拒否!

(ホームヘルプサービスの拒否)

ヘルパーさんが訪問すると、「今日はけっこうです」と家に入れない、事前に「今日は出かけるので来なくていいです」と電話してしまう。

★こうしてみたら?

- 介護している同居家族や配偶者が「ケアのプロに、効率的で安全なやり方を教えてもらいたい」と提案してみる。
- 「楽をすることって悪いことじゃない! 空いた時間に自分の好きなことができるよ」と提案。

認知症が心配…

でも「病院に行こう」と言い出せない

「精神科」や「物忘れ外来」に連れていくのは本人の拒否があるかも…とハードルが高くてなかなか言い出せない…。認知症だと思っていたら、高齢者の「鬱」だったり、脳神経の不安定からくるのが原因のこともあり、病院での診察が必要なきがあるので注意しましょう。

★こうしてみたら?

- 「高齢者になったら健康診断の一環としても忘れ検診を受けることが決まった」「練馬区では、70歳以上の検診は無料!」と言ってみる。
- かかりつけ医にお願いして「高齢者の健康診断のついでに、区のもの忘れ検診もしてみましょう」と勧めてもらう。

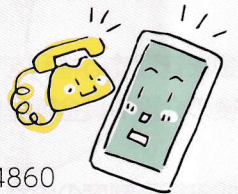
親が「認知症」と診断された どう考えたらいいの?

周囲の家族等はその現実をなかなか受け入れられないこともあります。しかし、周囲にいる人や家族以上に困惑しているのは、「本人」です。

これからの不安や家族に迷惑をかけないように…と思い、また、その不安から「鬱」になったり、暴力的になることがあるのです。

★こうしてみたら?

- 地域の介護家族の会に参加する。
「家族の介護をする人が集まって、安心できる雰囲気の中で、悩みや不安を話せる場」です。また、介護についての様々な情報交換もしています。
お近くの「地域包括支援センター」にお問い合わせください。



●注意をしましょう

- 悪質商法に注意
練馬区消費生活センター 5910-4860
- 成年後見制度の利用
この制度では、認知症のある人が結んだ契約で、本人に不利益が生じるおそれがある場合、後見人が手続きをすれば取り消すことができます。お近くの「地域包括支援センター」にお問い合わせください。

施設に入るのは絶対にイヤ! 自宅で暮らしたい… 「施設入所」を拒否!

これまでの生活を離れるつらさ、新しい生活への恐れなどを抱えます。

自分の未来や環境が勝手に決められるのは辛いことです。あまりに拒否が強い場合は無理をせず、好機を待つことも大切です。

★こうしてみたら?

- 医者言うことは率直に聞く高齢者も多いので、かかりつけ医から施設に入るのもよいと勧めてもらう。
- 施設的环境になれるために、ショートステイや体験入所を利用しながら慣れていくように、施設と連携する。

